


2016年3月期 通期決算の概況



2016年4月22日(金)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

通期決算の概況

連結業績

営業利益、経常利益、当期利益は7期連続の増益かつ、過去最高益を更新

(単位:千円)

	2015年3月期 (2014年4月～2015年3月)	2016年3月期 (2015年4月～2016年3月)	増減率 (%)
売上高	4,190,516	4,669,570	11.4
営業利益	1,148,555	1,406,004	22.4
経常利益	1,159,610	1,406,639	21.3
当期利益	716,496	918,363	28.2

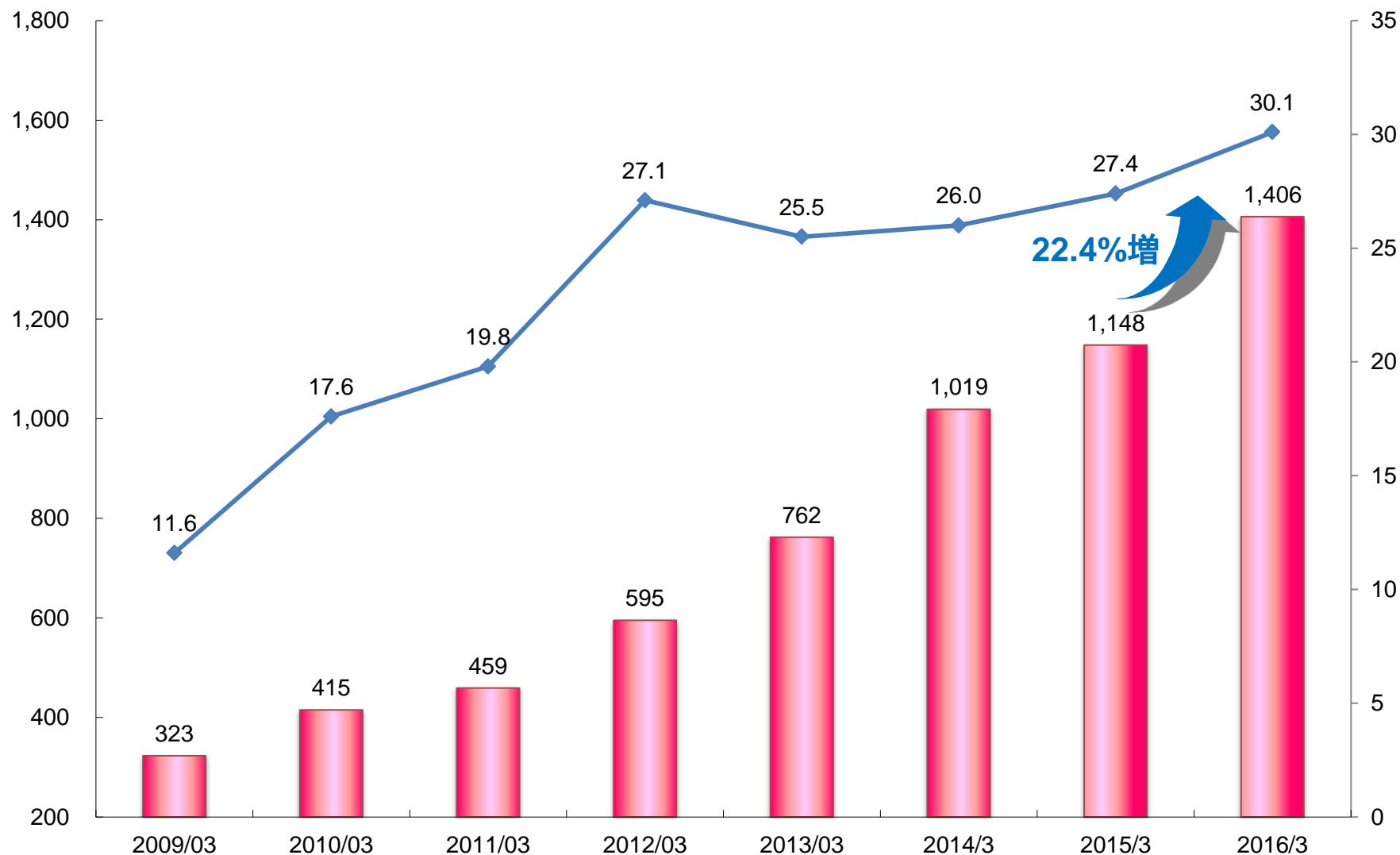
※当期利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を意味する。

連結営業利益の推移

営業利益率は30%を超える高い利益率

(単位:百万円)

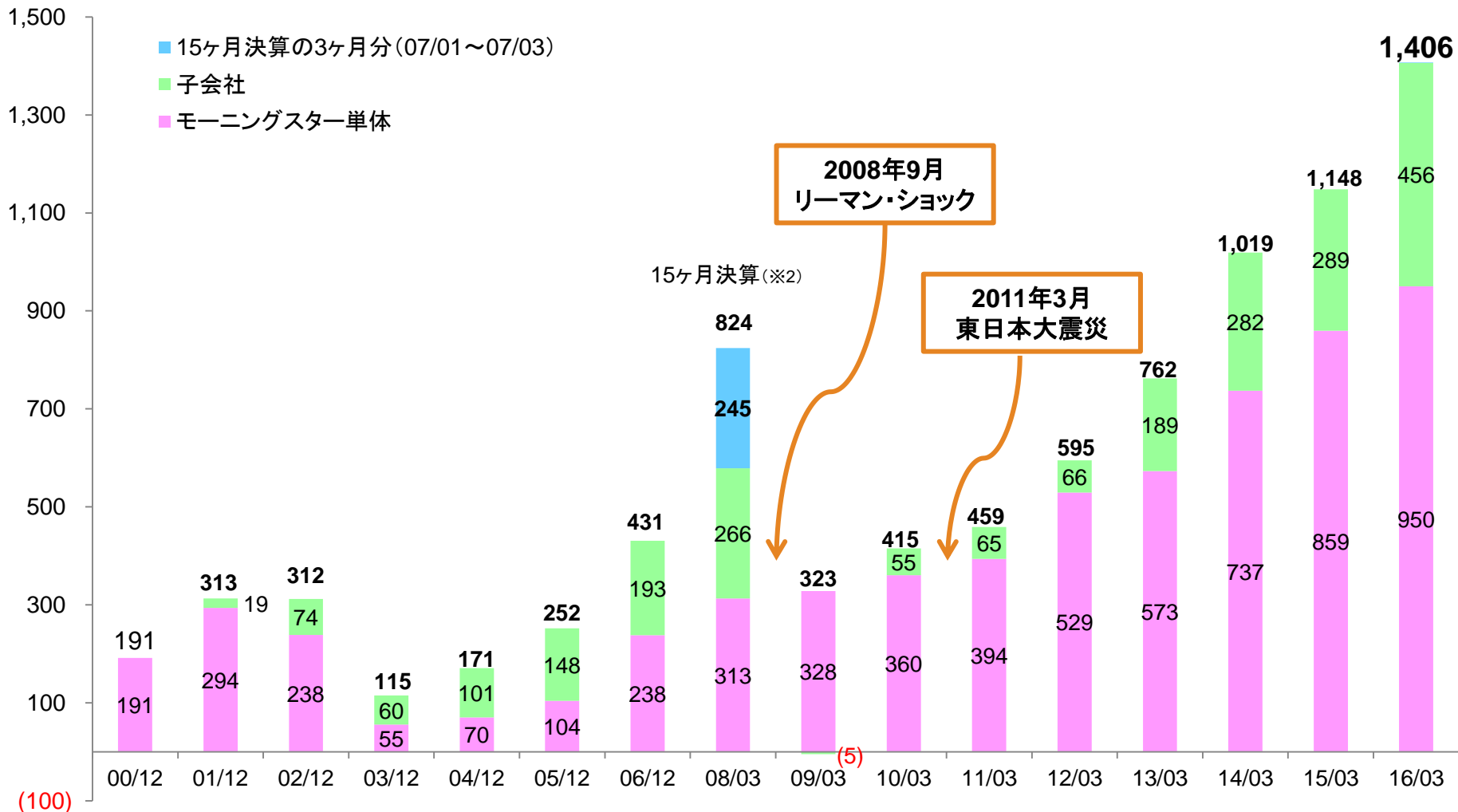
(単位:%)



上場(2000年6月)以来の営業利益の推移

連結は7期連続の増益、単体は12期連続の増益

(単位:百万円)



※1 2000年6月23日に大阪証券取引所ナスダックジャパン(現東京証券取引所ジャスダック)に上場。

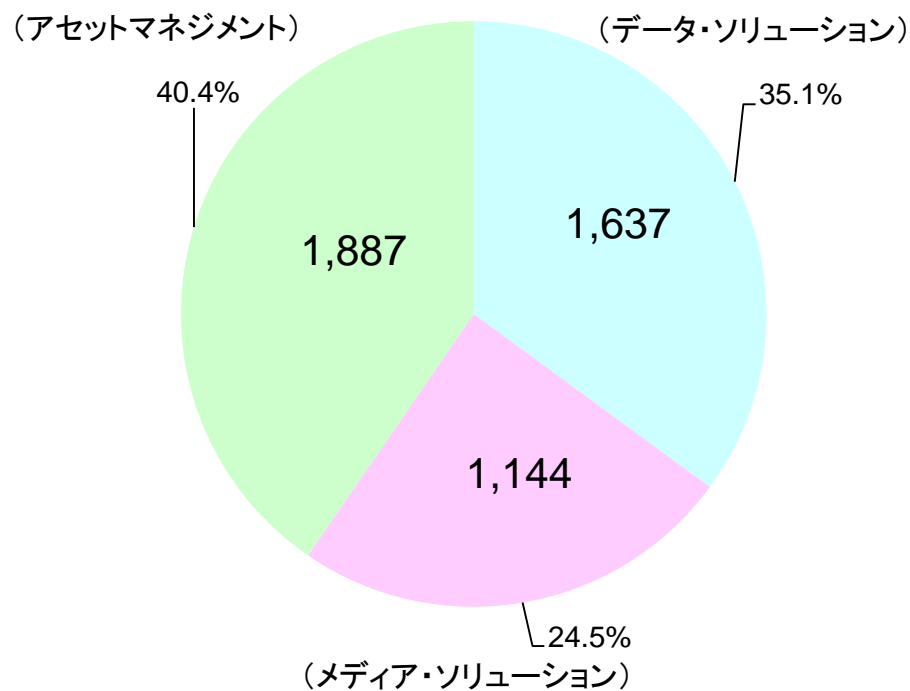
※2 2008年3月期は決算期変更による15ヶ月の変則決算であり、2007年1月から3月までの変則期間の利益を別にして、2007年4月から2008年3月までの12ヶ月間の利益で、連続増益期間数を算定。

※3 上記グラフは、連結消去金額について記載を省略。

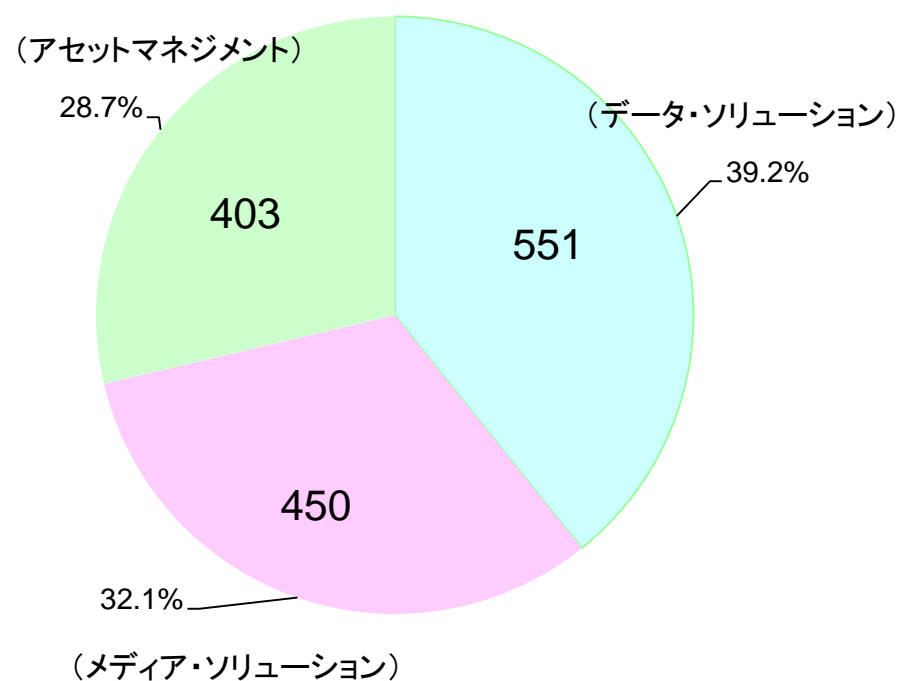
セグメント別の売上高と営業利益の構成比

(単位:百万円)

売上高 (2016年3月期)



営業利益 (2016年3月期)



主なサービス別の売上高の増減

(単位:千円)

セグメント	サービス名称	2015年3月期 (2014年4月～ 2015年3月)	2016年3月期 (2015年4月～ 2016年3月)	増減率 (%)
データ・ソリューション	ファンドデータ (モーニングスター)			
	(タブレット)	164,008	271,783	65.7
	(その他)	383,938	426,063	11.0
	合計	547,945	697,845	27.4
	ファンドレポート (モーニングスター)	185,929	222,226	19.5
	マネールック (イー・アドバイザー)	59,509	87,065	46.3
	株式新聞購読料 (モーニングスター)	327,681	307,565	-6.1
メディア・ソリューション	メディア・ソリューション (モーニングスター:ウェブ広告&セミナー)	654,009	688,811	5.3
	Webコンサルティング (モーニングスター(ゴマス))	203,403	250,942	23.4
アセット マネジメント	運用受託報酬 (SBIアセットマネジメント)	1,451,270	1,864,421	28.5

モーニングスター単体の業績

※営業利益、経常利益は12期連続の増益かつ、過去最高益を更新
 ※当期利益は、前年事業年度にSBIサーチナ(株)を吸収合併した際に
 特別利益93百万円が計上されており、その影響を除けば増益

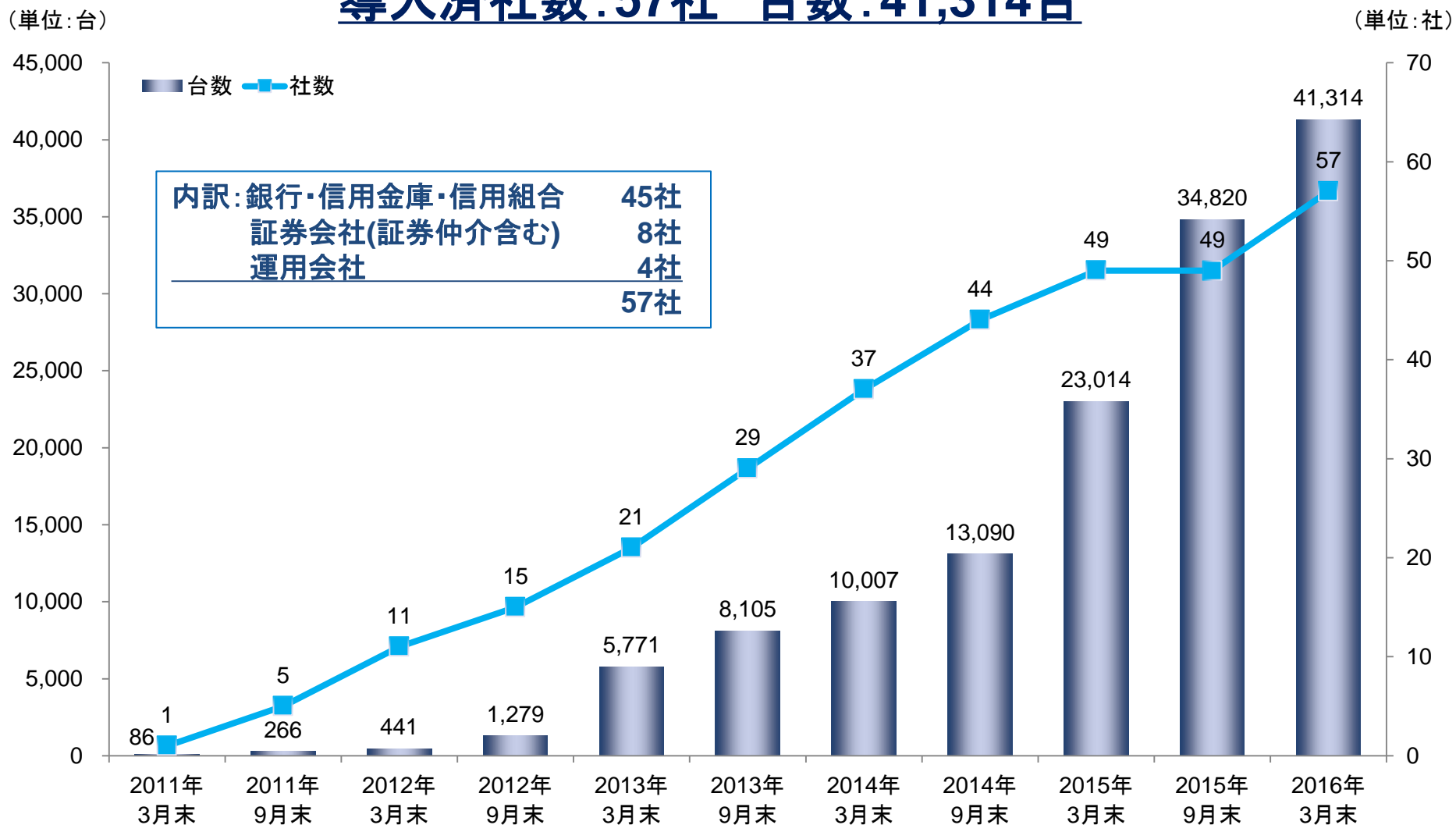
(単位:千円)

	2015年3月期 (2014年4月～2015年3月)	2016年3月期 (2015年4月～2016年3月)	増減率 (%)
売上高	2,555,044	2,739,988	7.2
営業利益	859,423	950,165	10.6
経常利益	863,111	949,822	10.0
当期利益	626,459	615,112	△1.8

タブレットアプリの提供社数及び台数

2016年3月末時点

導入済社数:57社 台数:41,314台



ロボ・アドバイザーツールに対するニーズの拡大

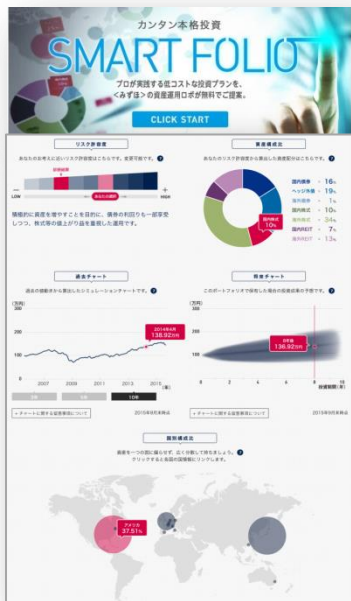
2016年3月にみずほ銀行向けの「ロボ・アドバイザーツール」を全面リニューアル
各金融機関にカスタマイズして積極的に展開

1次フェーズ

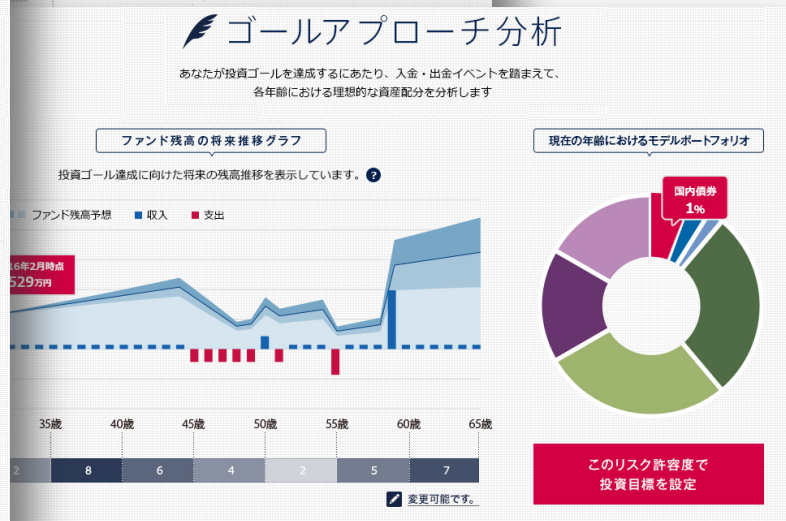
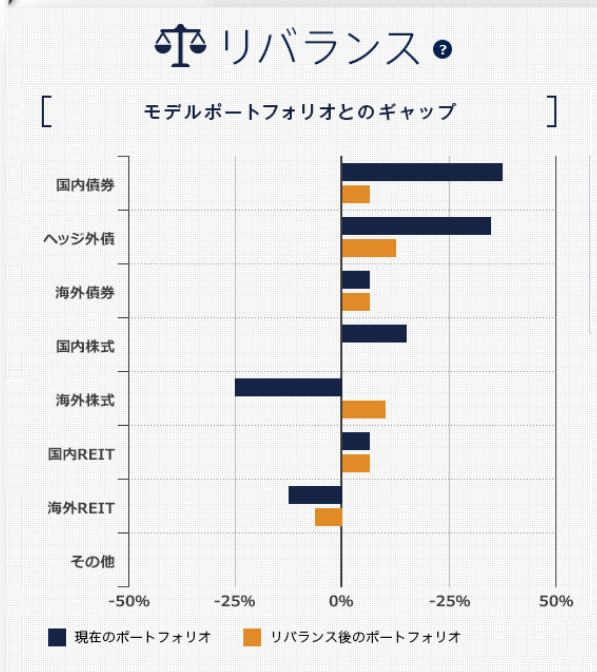
2015年10月～

2次フェーズ

2016年3月末～



- 投資ゴールと運用中の入出金を踏まえた長期運用プラン提示
- 保有ファンドのモニタリング
- 低コストファンドへのリバランス案提示

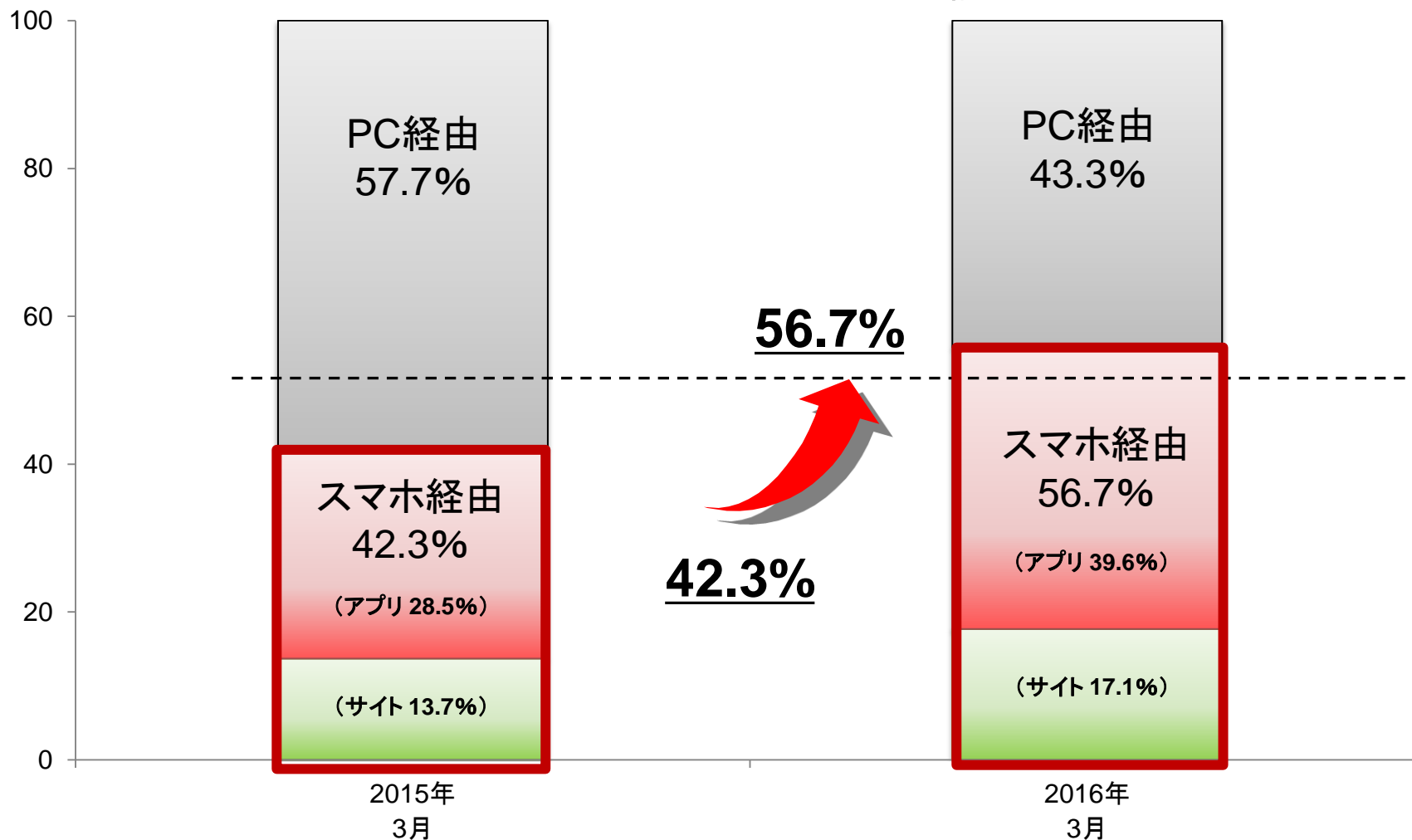


モーニングスターのデバイス別のページビュー

この1年間でスマートフォン経由がPC経由を上回る
アプリのダウンロード数も47万を突破

(単位:%)

デバイス別の月間ページビュー構成比



スマホ向け機能を次々に強化

画面の小さなスマホでも、PC以上の使いやすさを実現



「購入シミュレーション」を3月にリリース
購入時手数料や約定金額が簡単に計算可能

運用会社ごとにファンドを検索できる
「運用会社検索」(月末リリース)

|| SBI インド&ベトナム株ファンド

基準価額 **7,593円**
2016/08/16

入力方法

金額 円

購入時手数料率(%) %
※任意で変更可能

計算する

シミュレーション結果

お申込金額	1,000,000円
うち購入時手数料	32,400円
約定金額	967,600円
約定口数	1,274,331.6212 □

ファンド検索結果

SBIアセットのファンド一覧
200件中 1-50銘柄を表示

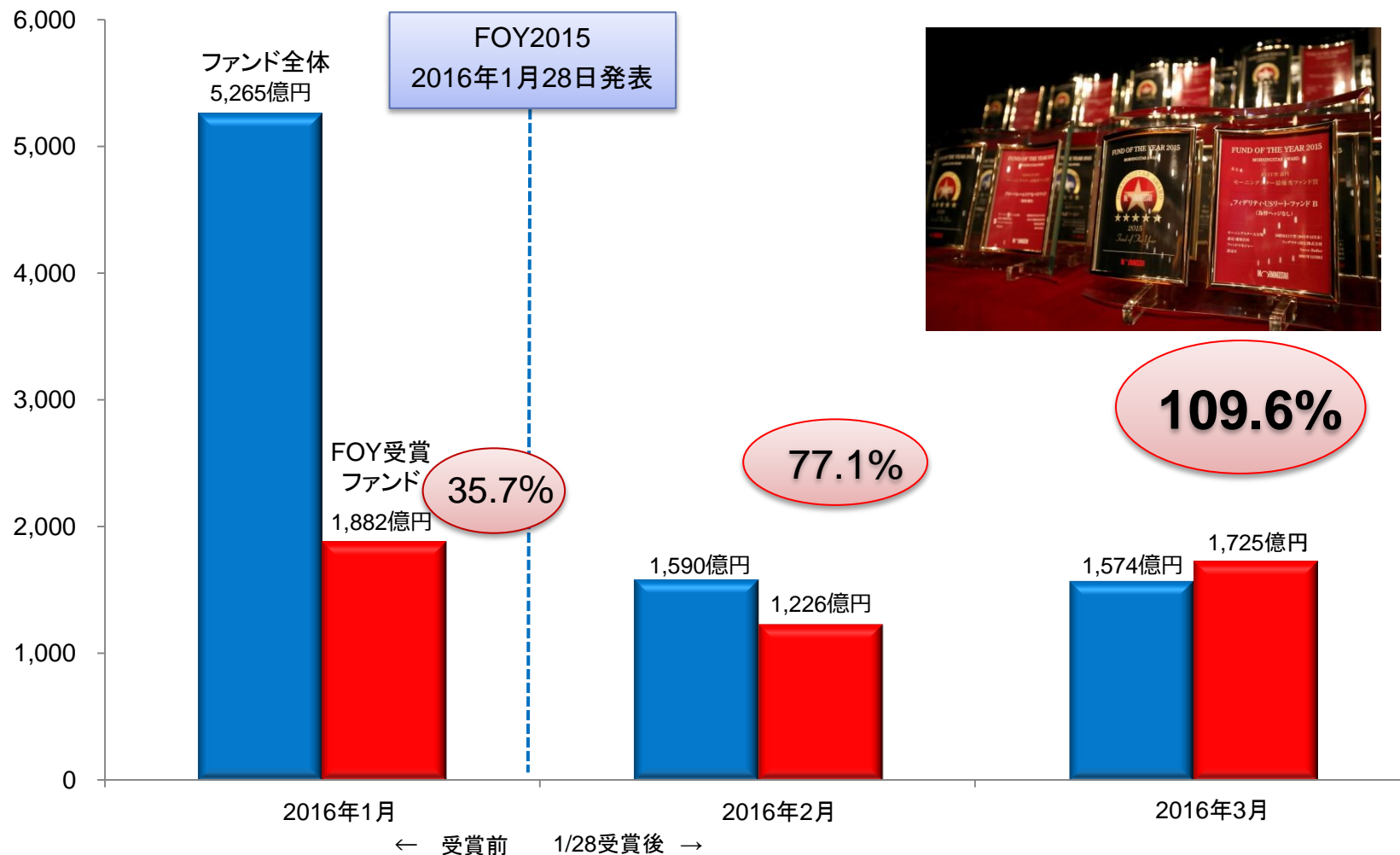
G・リート・トリプル・プレミアムF(毎月)	
SBIアセット	3,501円
国際REIT・特定地域(F)	前日比: -44円
リターン(3年)	標準偏差(3年)
-%	-
信託報酬等(税込)	純資産額(百万円)
%	-
SBI 日本株3.7プル	
SBIアセット	6,066円
株式プル型	前日比: -206円
リターン(3年)	標準偏差(3年)
-%	-
信託報酬等(税込)	純資産額(百万円)
%	-
SBI 中小型割安成長株F ジェイリバイブ	
SBIアセット	26,566円
国内小型グロース	前日比: +102円
リターン(3年)	標準偏差(3年)
36.32%	18.23
信託報酬等(税込)	純資産額(百万円)
%	-
SBI インド&ベトナム株ファンド	

ファンドオブザイヤーの影響力

FOY2015公表前後の純資金流入額データ

FOY受賞ファンドの2016年3月の月間純資金流入額(約1,725億円/36本)は、
 ファンド全体(約1,574億円/4,300本)の純資金流入額を上回る

(単位: 億円)



三大都市で「ファンドオブザイヤー」セミナーを開催

3会場(東京・名古屋・大阪)合計:1,295名来場

ハイクラス自動車メーカー「BMW」と高級腕時計メーカー「ハインリッヒ・モーザー」が初めて協賛として参加



【特別協賛】



BMW(ドイツ)



ハインリッヒ・モーザー(スイス)

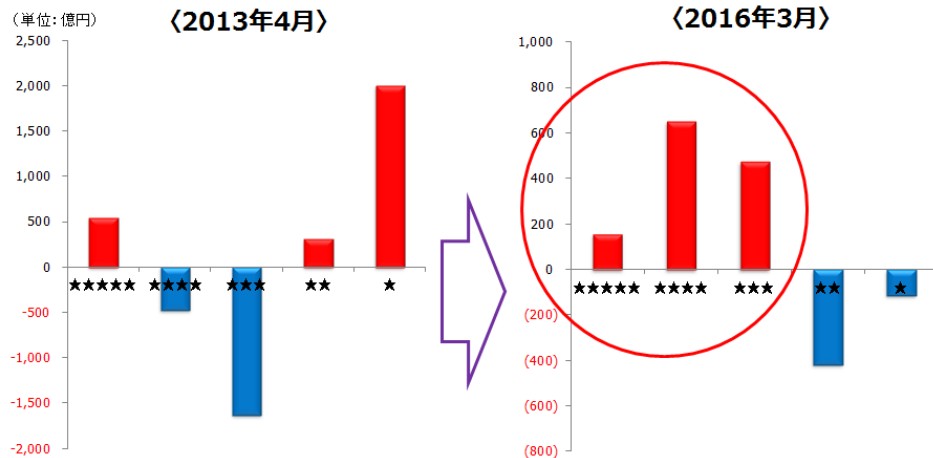


(来場者の声)

- ・生のファンドマネジャーの話が聞けてよかった。(50代・男性)
- ・最優秀ファンドの投資哲学が聞けて、大変参考になった。(40代・男性)
- ・評価会社としての見解を頂けた事が参考になりました。(30代・男性)
- ・今後もアワードを継続して下さい。(30代・女性)



三井住友アセットマネジメントは運用会社で初めて、運用全ファンド(約140本)にモーニングスターレーティングを付与



レーティングの高いファンドに
資金流入が拡大



三井住友アセットマネジメント

お知らせ

■ 前ページに戻る

弊社コーポレートサイトにおけるモーニングスター社レーティング開示のお知らせ(2016年4月1日公開予定)

2016年02月10日

日頃より、弊社のコーポレートサイトをご利用いただきありがとうございます。

このたび、三井住友アセットマネジメント株式会社(代表取締役社長: 榊山邦男)は、2016年4月1日(金)より弊社コーポレートサイトに、約140ファンドを対象として、モーニングスター株式会社によるレーティングとリスクメジャーを提示することいたしました。*

* 今年度の取り扱いは、「フィデューシャリー・デューティ宣言」および「フィデューシャリー・アクションプラン」※1に基き、外部評価機関のわかりやすい指標を掲載することで、お客さまが投資判断をしやすくするために、ファンドを選んでいただけるもの、日本の運用会社では初の試みとなります。

また同日、コーポレートサイトのリニューアルを行い、ファンドマネージャーがファンドの成り立ちについて動画説明を行う等、幅広いお客さまに弊社ファンドをご理解いただけるよう様々なコンテンツをご用意する予定です。

弊社では引続き、多くのお客さまにとって、わかりやすく使いやすいホームページを、異なる情報の充実、利便性向上のために改善を図ってまいります。

※1: 弊社ファンドの評価のみ、基準価額一覧、ファンド詳細ページでご覧いただける予定です。

・モーニングスターレーティングについて
モーニングスター社が独自に算出する「モーニングスターリターン」と「モーニングスターリスク」の値によって算出された数値を、モーニングスターカテゴリー(73カテゴリー)内のファンドの中で相対的にどのランクに位置するかを高い星印で示したものです。最近のリターンだけでなく3年、5年、10年間の運用成績を重視しています。星は1つ星から5つ星まで5段階のランクがあり、星の数が多いほど過去の成績が良かったことを示しています。

(評価対象) 運用期間3年以上
(計算期間) 過去3年、5年、10年
(分布) ★★★★★: 上位 0.0%~10.0% (同一カテゴリー内)
★★★★: 上位 10.0%~32.5% (")
★★★: 上位 32.5%~67.5% (")
★★: 上位 67.5%~90.0% (")
★: 上位 90.0%~100.0% (")

検索・基準価額一覧

投資対象検索

すべて (321)	国内株式 (43)	外国株式 (70)
内外株式 (13)	国内債券 (8)	外国債券 (60)
内外債券 (25)	リート (14)	資産複合 (51)
その他 (37)	確定拠出年金 (51)	ETF (3)

▼条件クリア

運用実績

分配金

この名称で並び替えを行います。

ファンドです。

321件 1~50件を表示 基準日: 2016年04月21日

チェックしたファンドを比較する

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (%)	純資産総額 (百万円)	モーニングスターレーティング	リスクメジャー	お気に入り	比較
三井住友・アジア4大成長国オープン	9,214	+44	1,895	★★★★★	4	+	○
日興アジア・ハイイールド債券ファン ション分散型(連続アクティブヘッジ コース)	9,660	-41	2,154	★★★★★	2	+	○
外国株式指数ファンド	20,011	+105	1,149	★★★★★	4	+	○
三井住友・定額プラスファンド(毎月 分配型)	10,987	-15	576	★★★★★	1	+	○
三井住友・D・C外国債券インデックス ファンド [DC適用]	19,173	+24	48,797	★★★★★	2	+	○
スーパー小規模ポートフォリオ	15,253	+180	792	★★★★★	3	+	○

販売会社向け「ファンド・モニタリングサービス」の拡大

金融庁の「フィデューシャリー・デューティーの徹底」(平成27年事務年度「金融行政方針」)

課題

販売会社(銀行、証券会社等)

- ✓ 手数料稼ぎを目的とした投信の回転売買等
- ✓ 手数料の透明化も課題



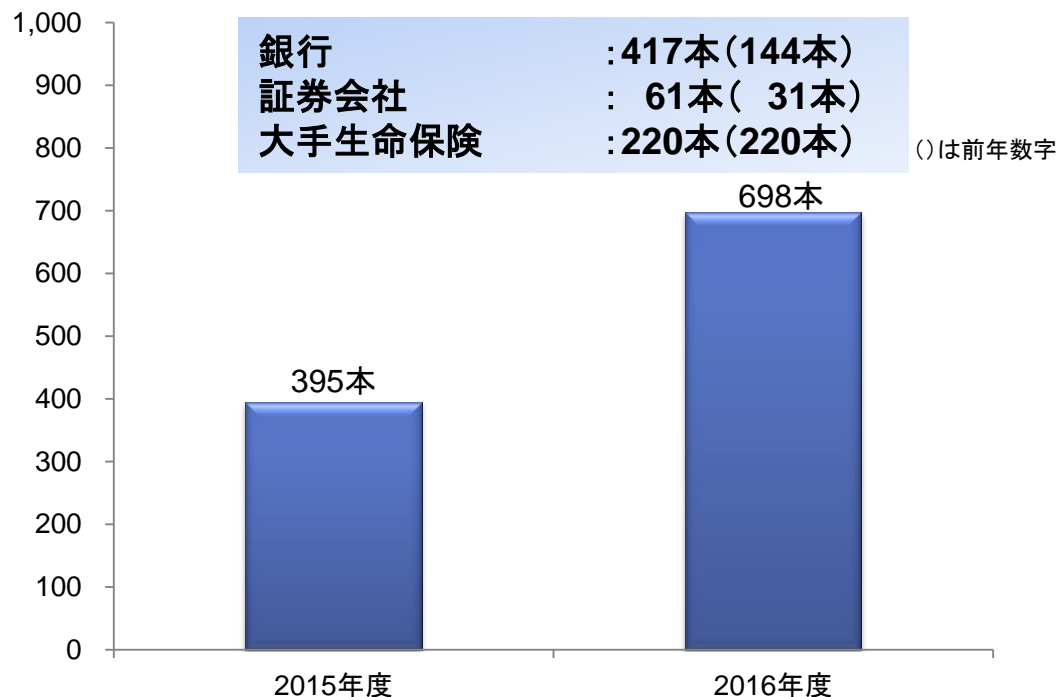
目指す姿

販売会社(銀行、証券会社等)

- ✓ 真に顧客のためになる質の高い金融商品・サービスの提供

※販売会社は、顧客本位の商品選定ができていないか問われている

(単位:本数) モーニングスターの「ファンドモニタリングサービス」の受託本数



SMBC ファンドラップ・日本バリューストック

設定・運用: 大和住信投信投資顧問株式会社

評価基準日: 2015年12月30日

運用の特徴

- 投資対象: 国内株式
- ベンチマーク: TOPIX (東証株価指数・配当込み)
- 運用手法: アクティブ運用ボトムアップ
- ファンドマネジement: 体制: チーム運用制
- 運用担当者: 中西 / 藤 啓一
- 運用開始年数: 17年9ヵ月
- 当ファンドの担当年数: 3ヵ月
- 運用委託、運用助言: なし

運用コスト

ファンド	個別年平均
信託報酬等	0.79%
解約時償還率	0.00%

設定・決算日

■設定日: 2007年2月20日
■決算日: -

累積リターングラフ

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015/12
4.64	-16.39	23.48	52.41	10.25	10.96	25.32%
3.68	0.61	2.62	2.00	-0.03	-1.20	10.9%
0.84	0.56	4.09	0.65	1.38	-0.56	-14.00%

運用成績

指標	2010	2011	2012	2013	2014	2015/12
トータルリターン (%)	4.64	-16.39	23.48	52.41	10.25	10.96
ベンチマーク	3.68	0.61	2.62	2.00	-0.03	-1.20
個別年平均	0.84	0.56	4.09	0.65	1.38	-0.56
標準偏差 (%)	20.14	14.17	22.05	16.17	12.63	17.74
ベンチマーク差	0.55	1.14	-0.15	-0.87	0.27	-0.94
個別年平均差	0.05	1.00	-1.54	-0.72	0.37	-1.40
シャープレシオ	0.23	-	1.06	3.24	0.81	0.61
ベンチマーク差	0.18	-	0.13	0.05	-0.02	-0.03
個別年平均差	0.04	-	0.24	0.19	0.09	0.02
総資産額 (億円)	42	30	28	39	152	465

ポートフォリオ

■上位業種別構成比率 (2015年12月末現在)

業種	構成比率 (%)
上場金融機関	6.96
下場金融機関	6.96
銀行	6.12
三井住友銀行	3.81
東海旅客鉄道	3.81
NITDコム	3.49
NIT	3.44
電力	3.07
村田製作所	2.98
みずほFグループ	2.54
第一生命保険	2.47
日本航空	2.27
NIPPPO	37.15
上位10銘柄合計	104.88
組入銘柄数	104

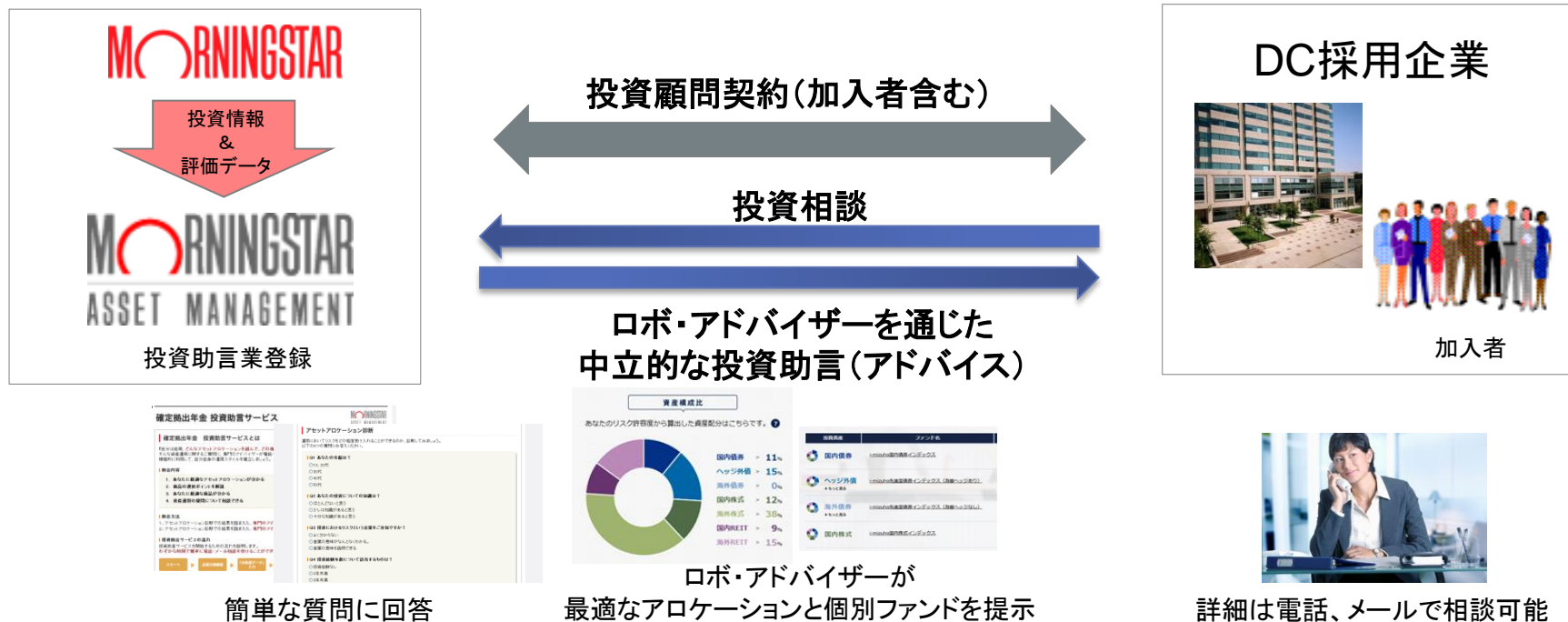
運用経途に対するコメント

2015年12月末までの過去3ヵ月間のトータルリターンは9.69%と、ベンチマークを0.15%下回ったものの、個別ファンド分散平均を0.33%上回った。銘柄選定はプラスに寄与したものの、業種別分散はマイナスに寄与した。個別ファンド分散内では、不動産の比率を高めていたファンドが対しては減額となったものの、個別銘柄の比率を高めていたファンドなどに対しては復元し、概ね平均的パフォーマンスとなった。

前年のトータルリターンをみると、2015年までの過去6年間のうち、2013年以降は3年連続で超過0%を獲得できなかったものの、2014年までは5年連続で個別ファンド分

「ロボ・アドバイザー」を活用した DC加入者向け投資助言サービスの提供開始

第1号案件として(株)アサツーディ・ケーに提供決定 **ADK**



【サービスの特徴】

- ・複数の金融機関(みずほ銀行等)に提供済みの**ロボ・アドバイザー**を活用
- ・モーニングスター・アセット・マネジメント(投資助言業登録)がDC採用企業と契約し、加入者に**中立的、客観的な投資助言**
- ・DC採用企業のファンドラインナップに合わせて**個別カスタマイズ**
- ・あらゆる**デバイス**(PC、スマホ、タブレット等)からアクセス可能

子会社イー・アドバイザーの業績

営業利益、経常利益、当期利益いずれも60%超の大幅な増益

(単位:千円)

	2015年3月期 (2014年4月～2015年3月)	2016年3月期 (2015年4月～2016年3月)	増減率 (%)
売上高	59,508	87,065	46.3
営業利益	31,818	52,422	64.8
経常利益	32,704	52,336	60.0
当期利益	20,839	33,823	62.3

イー・アドバイザーが提供する「マネールック」は 「資産管理ツール」から「資産アドバイスツール」へ

独立系FP会社に富裕層向けファイナンシャルプランニングの情報収集基盤として提供



- 定期的な情報の収集とアセット毎の資産状況をレポートする機能を提供
- モーニングスター保有データとの連携も将来的に視野に入れる

取引データ収集
(マネールック)

FPによる
資産状況の確認

実態に即した
プランニング



アカウントアグリゲーション
機能で資産情報を収集



定期的な資産状況の確認を
ほぼ自動で実現



資産情報を元にして、
最適な資産管理プランを提示

子会社のSBIアセットマネジメントの業績

営業利益、経常利益は60%超、当期利益は71.1%の大幅な増益

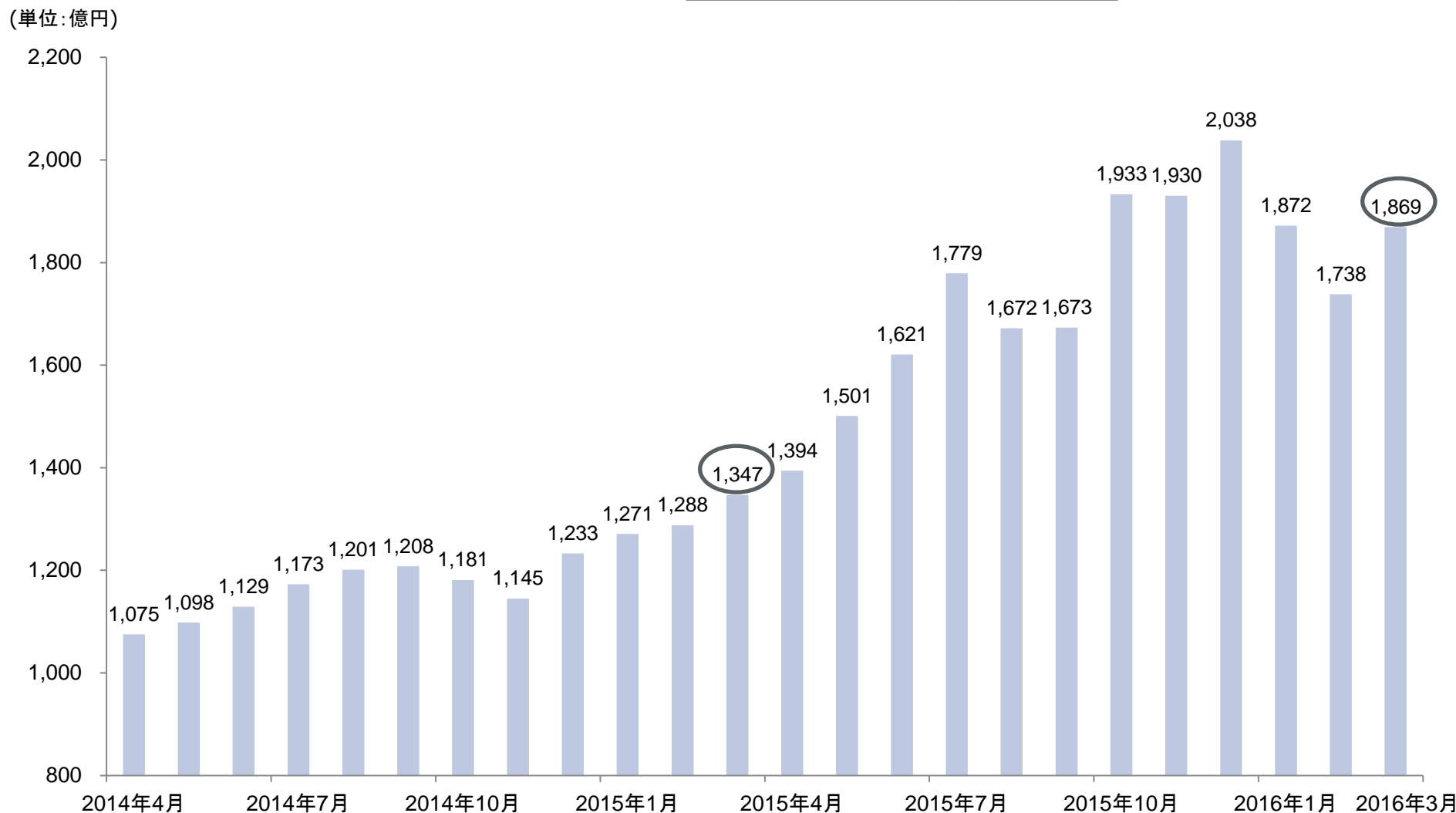
(単位:千円)

	2015年3月期 (2014年4月～2015年3月)	2016年3月期 (2015年4月～2016年3月)	増減率 (%)
売上高	1,451,270	1,864,421	28.5
営業利益	239,604	395,016	64.9
経常利益	239,168	396,250	65.7
当期利益	154,271	264,026	71.1

※ 子会社SBI Fund Management Company S.A.を連結した数値。
当期利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を意味する。

SBIアセットマネジメントの運用残高の推移

2016年3月末現在の純資産総額=1,869億円



※データ期間: 2014年3月～2016年3月

残高には、投資法人・子会社への助言を含む

主要ファンドの純資金流入状況

【2015年4月～2016年3月の純資金流入トップ5ファンド】

(単位:億円)

順位	私募/公募	ファンド名	2015年4月～ 2016年3月
1	私募	SBIアリアンツ日本株集中投資戦略ファンド (設定日:2015年9月9日) (大和のファンドラップ向け:日本株セレクションに)	382
2	公募	グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド	264
3	公募	SBI日本株3.7ブル	221
4	公募	SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (『jrevive』 および 『jrevive II』)	78
5	公募	EXE-iシリーズ(5ファンド合計)	51

※データ期間:2015年4月より2016年3月末まで。SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成。

運用会社全体の純資金流入状況

【2015年4月～2016年3月の純資金流入額ランキング】

(単位:億円)

順位	運用会社名	純資産流入額
1	野村	33,140
2	大和	14,524
3	日興	13,684
4	三菱UFJ国際	9,206
5	ニッセイ	6,688
6	大和住銀	6,360
7	新光	5,915
8	三井住友	4,731
9	三井住友トラスト	4,663
10	フィデリティ	4,261
11	DIAM	2,833
12	ブラックロック	2,751
13	ゴールドマン・サックス	2,585
14	アライアンス	1,626
15	東京海上	1,535
16	岡三	1,333
17	スパークス	929
18	みずほ	890
19	しんきん	833
20	シンプレクス	764
21	SBI	594
22	レオス・キャピタルワークス	586
23	アムンディ・ジャパン	357
24	カレラ	303
25	セゾン	302

順位	運用会社名	純資産流入額
26	JPモルガン	277
27	リソなAM	277
28	楽天	276
29	アストマックス	269
30	いちよしAM	247
31	シュローダー	241
32	スカイオーシャン	234
33	あおぞら	171
34	リクソー	160
35	ちばぎんAM	138
36	パインブリッジ	112
37	ベアリング	103
38	鎌倉	95
39	農中全共連	95
40	イーストスプリング	92
41	JP投信	86
78社中21位		
71	メロン	-223
72	BNPパリバ	-245
73	明治安田	-276
74	HSBC	-318
75	ピクテ	-342
76	インベスコ	-402
77	ドイチェ	-776
78	損保ジャパン日本興亜	-877

※データ期間:2015年4月より2016年3月まで。

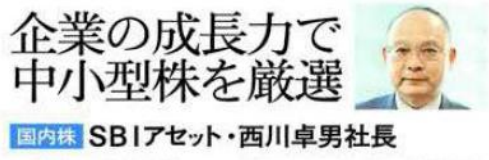
『NRI金融ITイノベーション通信』の「運用会社別純資金流入(追加型株式)」に基づきSBIアセットマネジメント株式会社が作成。

R&Iファンド大賞2016ではSBIアセットマネジメントが 国内株式総合部門で最優秀賞を受賞

部門	表彰区分	表彰対象
国内株式総合部門	最優秀賞	SBIアセットマネジメント株式会社
国内中小型株式部門	最優秀ファンド賞	SBI中小型割安成長株ファンド『ジェイリバイブ』
NISA国内中小型株式部門	最優秀ファンド賞	
国内中小型株式部門	優秀ファンド賞	中小型成長株ファンド『ネクストジャパン』
アジア株式マルチカントリー	優秀ファンド賞	SBIインド&ベトナム株ファンド

SBI中小型割安成長株ファンド『ジェイリバイブ』 は各メディアに取り上げられ注目度を増す

2016年3月6日 日経ヴェリタスで、
国内株式型の運用力で、評価1位を獲得



殖やすカランキング

国内株式				
順位	運用会社	スコア	ファンド数	純資産
1	SBIアセットマネジメント SBI中小型割安成長株ファンドジェイリバイブ(irevive)	55.4	10	310億円
2	レオス・キャピタルワークス ひふみ投信	54.7	2	968
3	スパークス・アセット・マネジメント スパークス・新・国際優良日本株ファンド(厳選投資)	54.2	9	1107
4	BNPパリバ インベストメント・パートナーズ エース新小型成長株オープン(グランドスラム・ジャパン)	54.1	2	31
5	セゾン投信 セゾン資産形成の達人ファンド	53.5	1	304

その他直近の掲載状況

- ・2016年2月8日 ニッキン投信情報(2016年2月8日発行)のシャープ・レシオ・ランキングにおいて**1位獲得**
- ・2016年1月14日夕刊の『追加型株式投信の2015年上昇率ランキング』において**3位獲得**
- ・2016年1月7日夕刊の『過去3年の上昇率ランキング』において**1位獲得**
- ・2015年12月17日経CNBCの投信NAVI(助言会社エンジェルジャパン・セットマネジメントの宇佐美代表取締役が出演)
- ・NRIの投信評価レポート『Fundmark』において、「国内株式／スタイル／中小型」分類で五つ星を獲得

Part 2

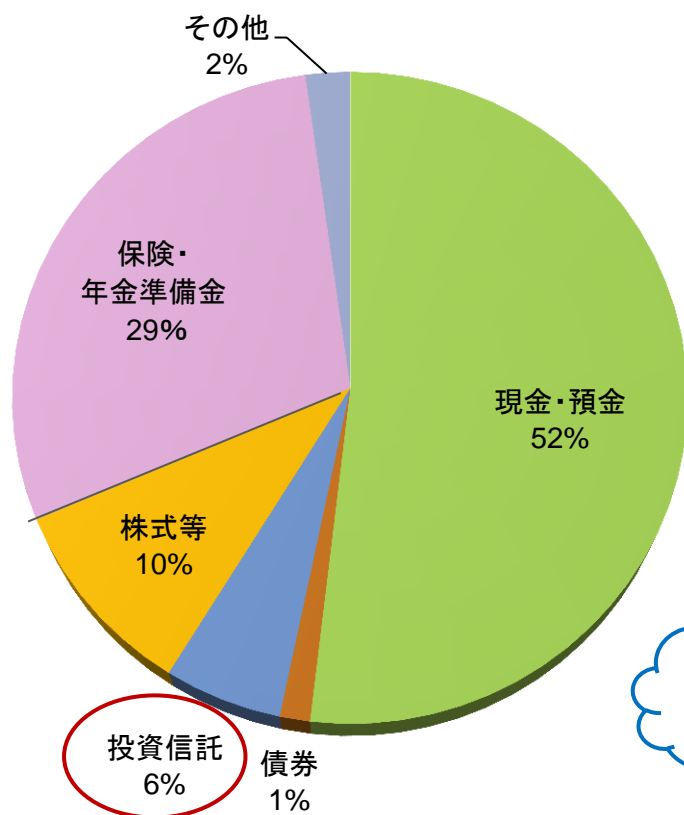
**当社を取り巻く事業環境の変化に対する
今後の注力ビジネス**

日米の家計の資産構成比

日本は「貯蓄」から「投資へ」

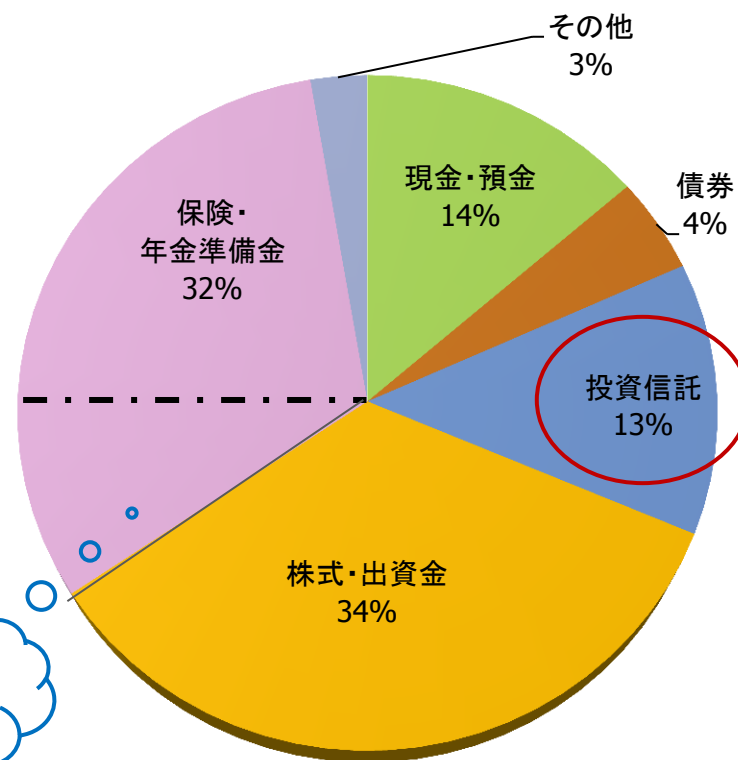
< 日本 >

1,741兆円



< 米国 >

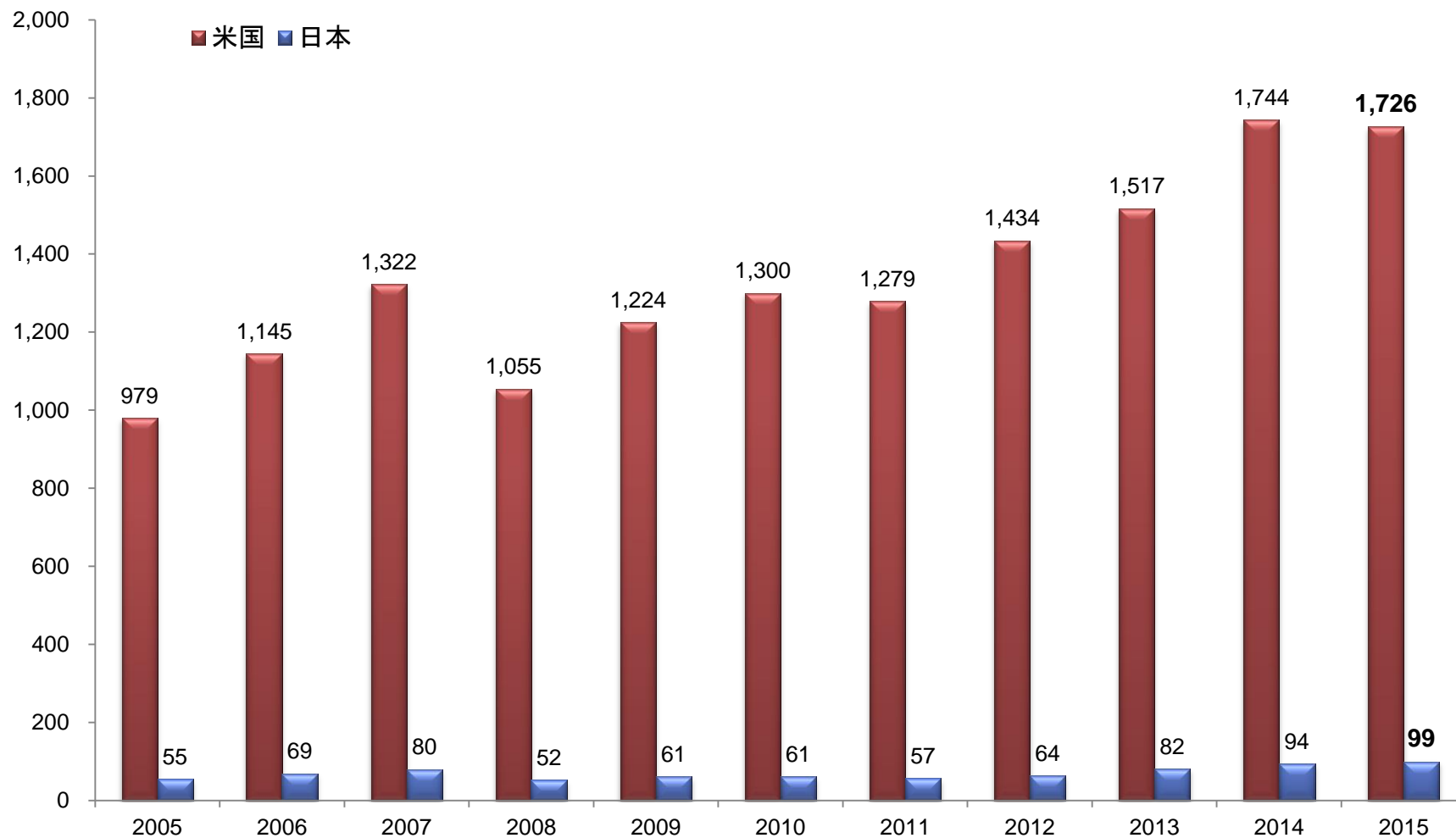
70.3兆ドル



401K
約10%

日米の公募投資信託の残高推移

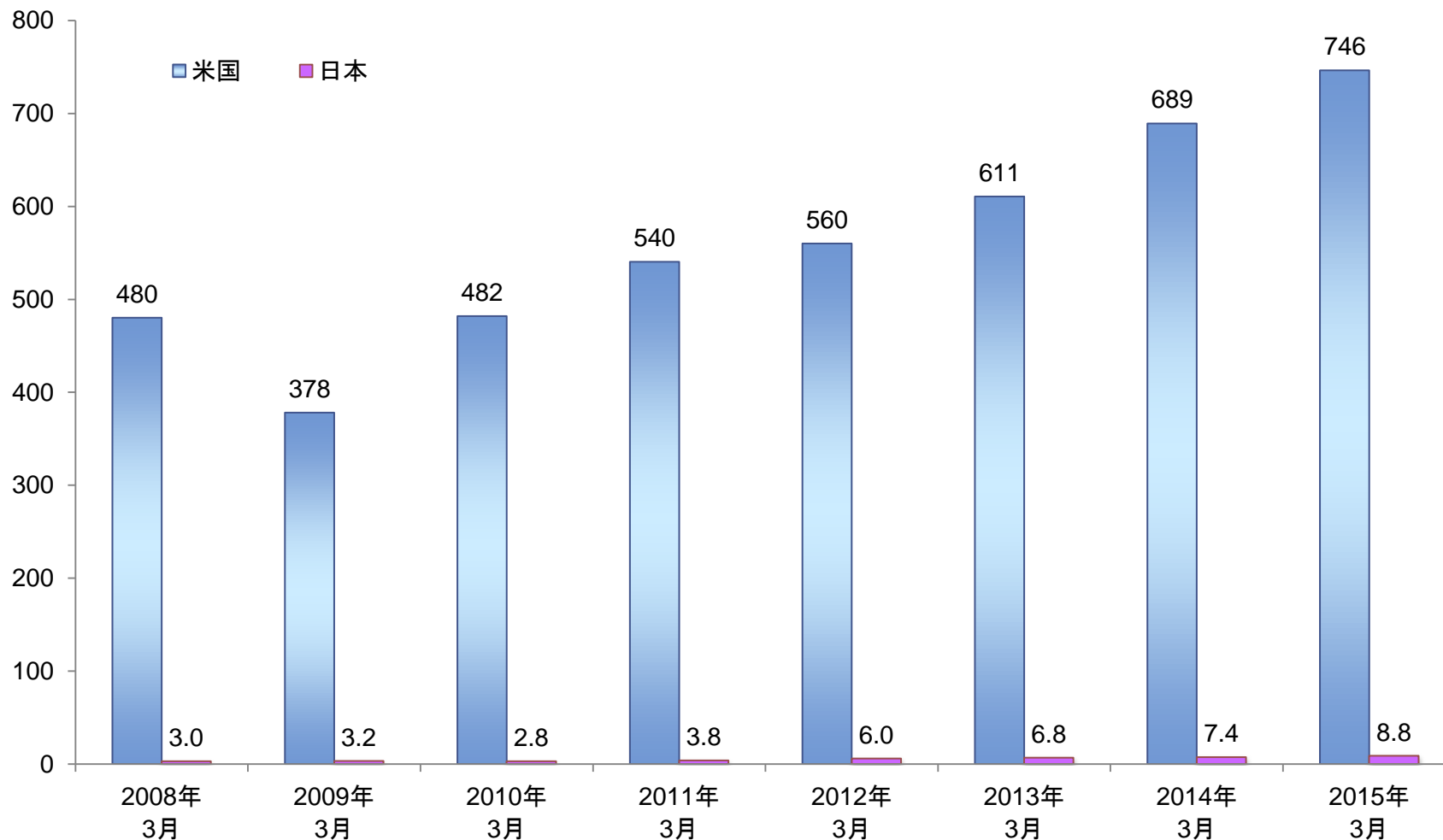
(単位: 兆円)



※出所: 米国=ICI(投資会社協会)、日本=投資信託協会
各年年末数値、2015年のみ11月末現在、1\$=110円で換算

日米の確定拠出年金の残高推移

(単位: 兆円)



※出所: 米国=ICI(投資会社協会)、日本=運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金(企業型)の統計概況(平成27年3月末現在)」
1\$=110円で換算

拡大の可能性が高まる確定拠出年金マーケット

参議院で制度改正法案が可決。現在衆議院で審議中
6月1日の本国会会期末までに新法案が成立する見通し

《企業年金の普及・拡大》

- ・事務負担等により企業年金の実施が困難な中小企業(従業員100人以下)を対象に設立手続きを緩和した「簡易型DC」を創設。

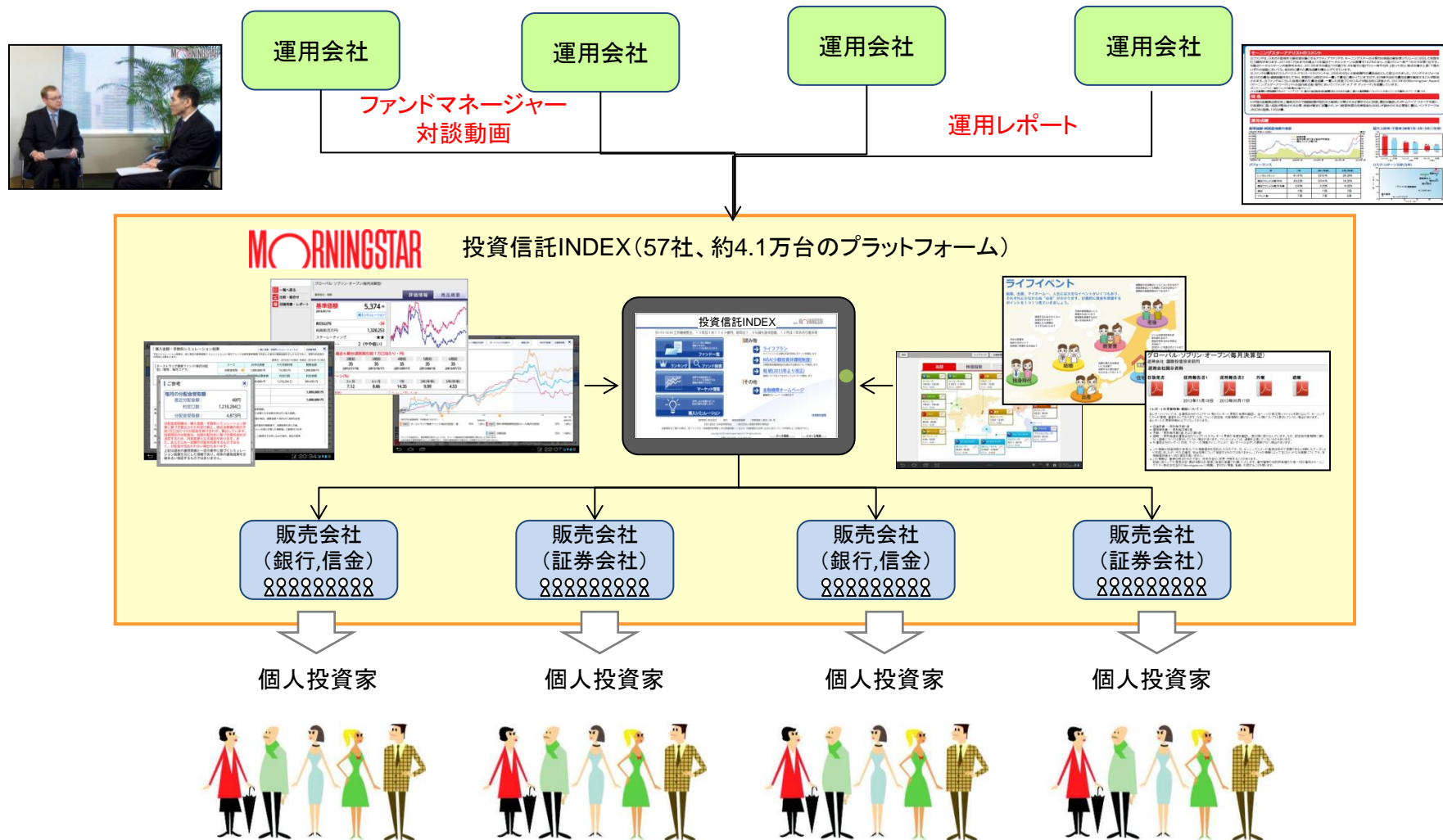
《ライフコース多様化への対応》

- ・個人型DCについて、3号被保険者(専業主婦)や企業年金加入者、公務員共済加入者も加入可能とする。

《DCの運用の改善》

- ・運用商品を選択しやすいよう、継続投資教育の努力義務化や運用商品数の抑制等を行う。
- ・あらかじめ定められた指定運用方法に関する規定の整備を行うとともに、指定運用方法として分散投資効果が期待できる商品設定を促す措置を講じる。

タブレットを通して投資情報のプラットフォーム化を目指す



ロボ・アドバイザーツールの提供により 金融機関のフィンテック関連需要を取り込む

SBI証券、カブドットコム証券など



リスク許容度

あなたのお考えに近いリスク許容度はこちらです。変更可能です。?

診断結果

LOW ← あなたの選択 → HIGH

インフレ環境下におけるお金の実質価値の目減りを抑えることを目的に、株式等の値上がり益を一部享受しつつ、債券の利回りを重視した運用です。

kabu.com カブドットコム証券
わたしたちは MUFJ です。

投信選びをサポート

**Morningstar
Portfolio Adviser**

● 個の質問にお答えいただくと
あなたに合った投信を
お選びいただけます

START

FUND ME

シミュレーションアプリファンドミー

FUND ME

テキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキスト

START →

FUND ME

モーニングスターは次世代の投資教育の 一歩を踏み出す

AI、ビッグデータを活用したEラーニングツールとロボ・アドバイザーツールを提供

Eラーニング



ロボ・アドバイザー

おかねまなぶ

○○○カテゴリー問題の進捗 1/10

Q1

NISAと確定拠出年金は、
どっちがお得？

1. NISA
2. 確定拠出年金
3. どちらでもない

A

答え合わせ >

おかねまなぶ

答えと解説

銀行の時間外勝手手数料108円を差し引かれた場合、銀行にあずけていた預金がお金を引き出すだけでマイナスになってしまいます。

100万円 預け入れ

一年経過

金利 0.001%

100万 + 利息10円 + 時間外手数料 108円

NEXT

次の問題に進む >



ADK<< MORNINGSTAR

投資 助言 サービス

ROBOT ADVISOR

クリックしてスタート

CLICK START!

ADK<< MORNINGSTAR

22222

ROBOT ADVISOR

アンケート > ポートフォリオ > あなたの投資スタイル > 投資のあなた

ポートフォリオ

チャートが読み込まれています。チャートが読み込まれています。チャートが読み込まれています。

国内株式	70%
国内株式	10%
国内株式	10%
国内株式	10%

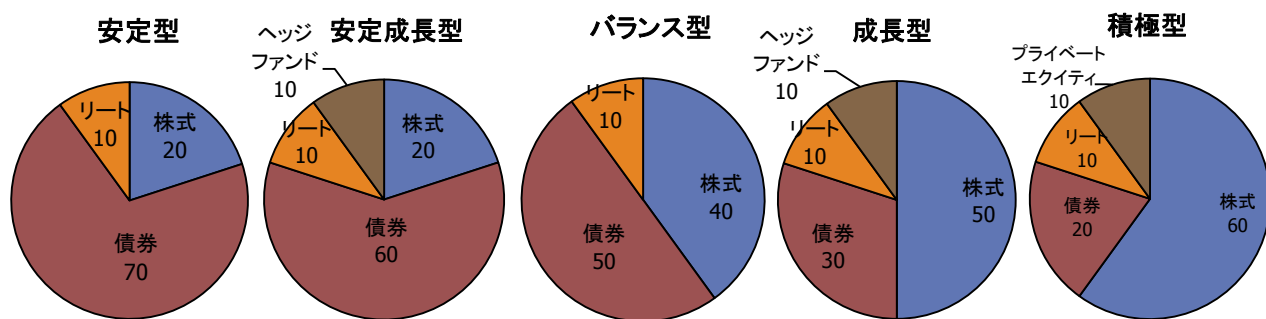
チャートが読み込まれています。チャートが読み込まれています。チャートが読み込まれています。

LOW 50m 40m 30m 20m HIGH +

ファンドオブファンズ & ファンドラップの トータルソリューションの提供



投資家に提供するポートフォリオを用意する



ポートフォリオ

販売会社



個人投資家



〈グローバルのファンド・ETFの評価情報〉

● Operations
○ Website



投資情報 & 評価データ



モーニングスター・アセット・マネジメント

投資助言

- ・最適なポートフォリオの構築
- ・運用実績の高いファンドの選定
- ・モニタリングとリバランスの実行

SBIアセットマネジメントの今後の方針と基本戦略

【基本方針】 “運用残高で 2020年に向けて 1兆円”

【商品戦略】

・前年に引続き、『旗艦ファンド』の育成に注力

旗艦ファンド候補: ジェイシリーズ(日本株中小型)、インド&ベトナム株、My-ラップ、
3.7ブルベア、EXE-i、分配型(トリプレ/ピムコ)等

・新規ファンド

今後の環境下での潜在ニーズを睨み、短期・中長期的な両方向を見据えて追加を検討

【チャネル別戦略】

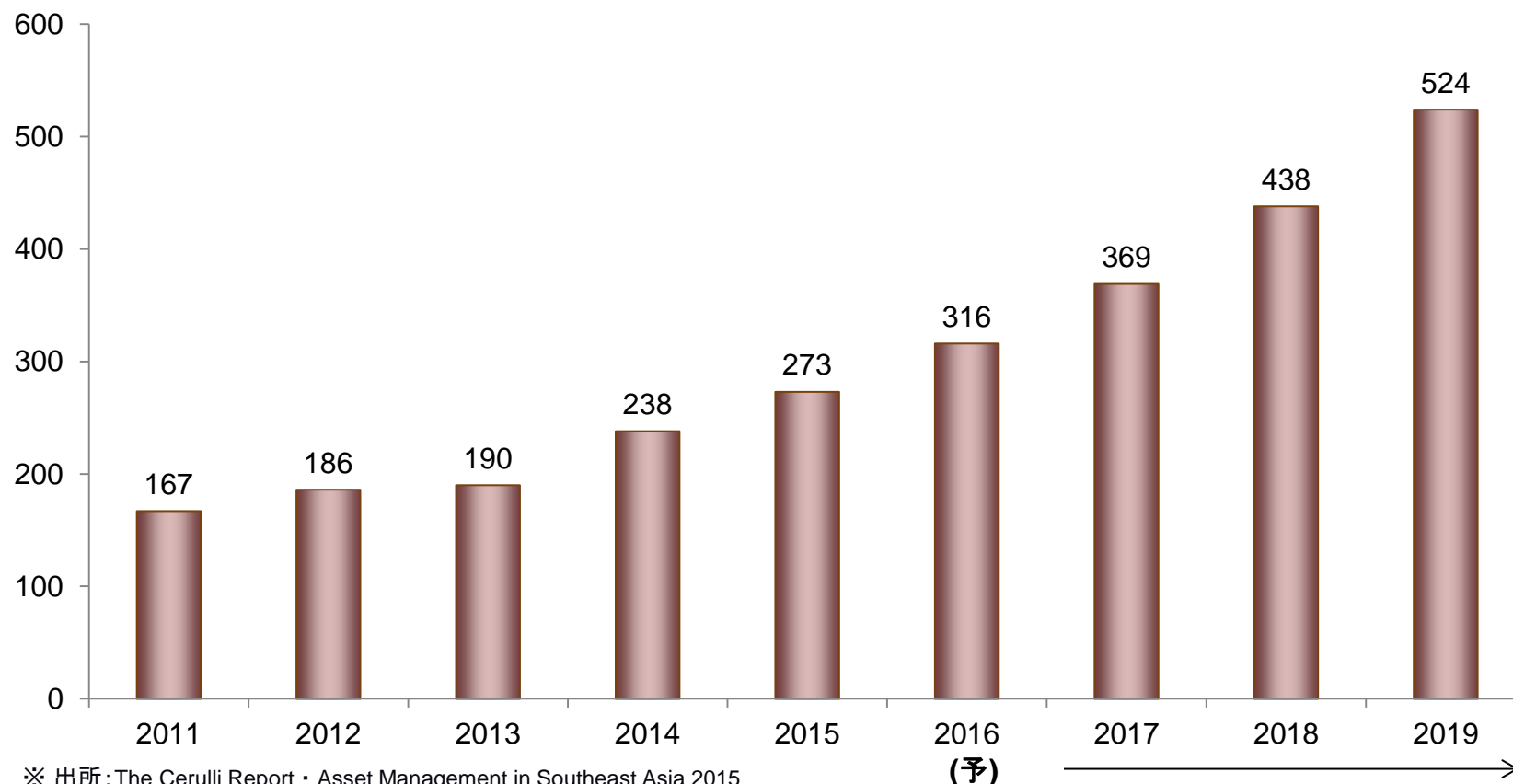
・販社の基本戦略

- 第一ステップ: 当社の強みを生かしSBIグループを中心に当社のブランド・ステータスを確立
- 第二ステップ: 確立したブランド・ステータス、顧客訴求力あるファンド(上記商品戦略)を活用し、地銀中心に販社を拡大

拡大するインドネシアの投信市場

- インドネシアの金融・IT事業を展開するコルフィナグループとの合併。
・出資比率：コルフィナ 51%、イー・アドバイザー 49%
- インドネシアでは法人への投資助言ライセンスの取得は初。
- インドネシアの人口2億5千万人のうち、投信保有者は30万人弱。
GDPに占める投信の割合も約2.1%と少なく、これから大きく伸びる可能性のある市場。

(1兆インドネシアルピア)



※ 出所: The Cerulli Report • Asset Management in Southeast Asia 2015

(予)

インドネシアビジネスの今後の事業展開

【2015年の事業報告】

- 国営プランテーションの年金ファンド評価レポートの受注
- ウェブサイト開設に伴い、ネットワーク広告売上計上開始

【2016年の事業展開】

- ① 年金ファンドの評価ビジネス拡充
(多数引き合いあり。年金スポンサー、運用会社向けセミナー開催予定)
- ② WEBサイト広告受注拡大
(ネットワーク広告以外にダイレクトセールスをスタート)
- ③ FP向け投信販売支援プロダクト(インドネシア版投信INDEX)の開発・販売
(2016年1月からシステム開発に着手)

Part 3

株主還元

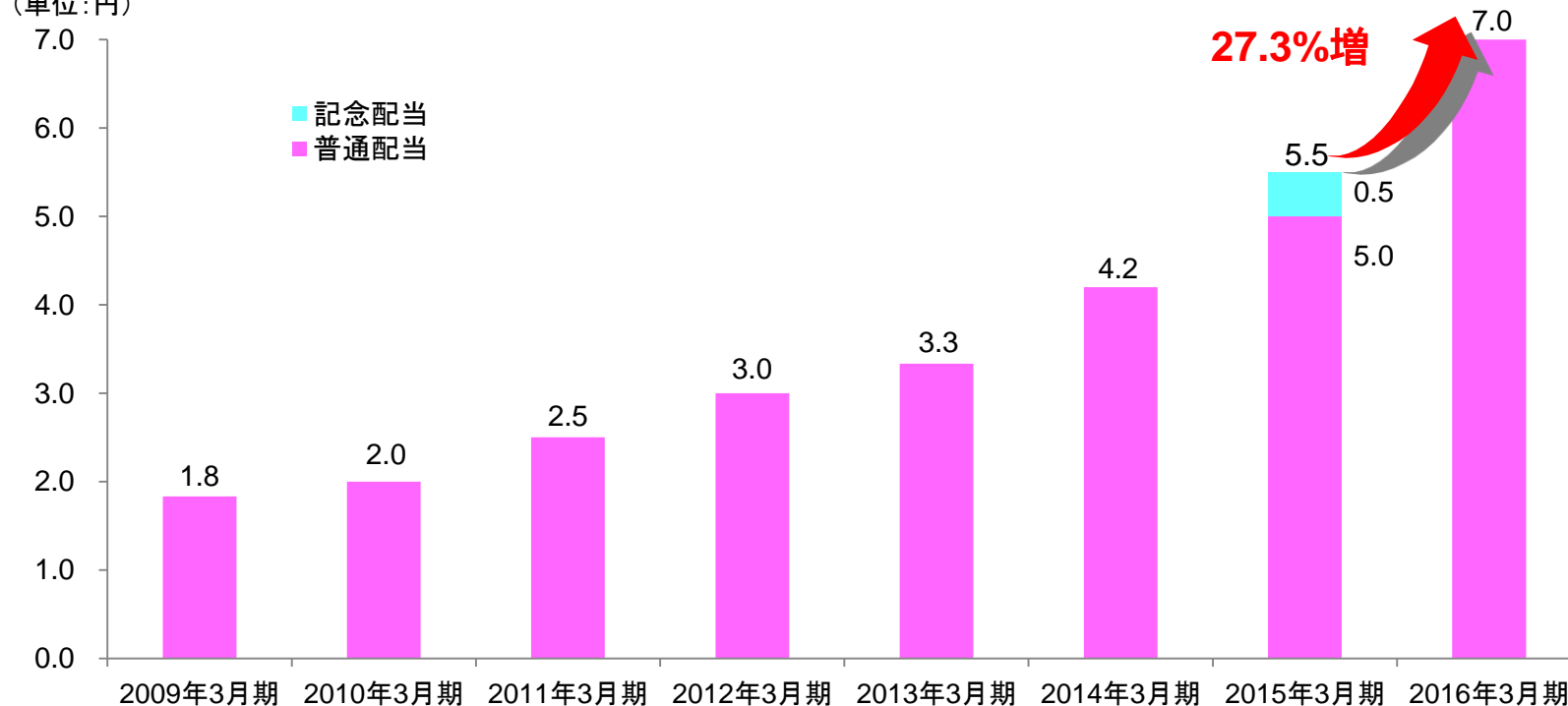
7期連続の増配

<期末配当> 2016年3月期の期末配当は、普通配当につき
2円(40.0%)増配の7円とする

2月18日に発表した配当予想の6円50銭よりさらに1株当たり50銭増額



	前期(2015年3月期)実績	当期(2016年3月期)確定	増配額(率)
普通配当	5円00銭	7円00銭	2円00銭(40.0%)
記念配当	50銭	—	—
1株当りの期末配当金	5円50銭	7円00銭	1円50銭(27.3%)

(単位:円)



株主優待の提供

「株式新聞ウェブ版(通常月ぎめ1ヶ月4,320円(税込)」と『アラプラス』の無料クーポンと商品半額割引購入券の提供

単元数(株数)	(1)『株式新聞ウェブ版』	(2) ①『アラプラス』 ②「ALA含有の健康食品・化粧品」	通常価格合計
1単元(100株)	2016年5月1日から	① SBIアラプロモが販売するALA含有の健康補助食品(サプリメント)『アラプラス』(通常価格2,980円)1個を無料で進呈する無料引換申込券 	15,940円
2単元(200株)	2016年7月31日まで		
3単元(300株)	3ヶ月間無料クーポン(12,960円相当)		
4単元(400株)	2016年5月1日から	② SBIアラプロモが販売するALA含有の健康補助食品(サプリメント)や化粧品を、通常価格から50%割引の優待価格で購入できる割引購入申込券1枚 	28,900円
5単元(500株)	2017年10月31日まで		
6単元(600株)	6ヶ月間無料クーポン(25,920円相当)		
7単元(700株)	2016年5月1日から		41,860円
8単元(800株)	2017年1月31日まで		
9単元(900株)	9ヶ月間無料クーポン(38,880円相当)		
10単元(1000株)	2016年5月1日から		54,820円
以上	2017年4月30日まで 12ヶ月間無料クーポン(51,840円相当)		

株主数の推移

株主還元積極的に取り組み、株主数は約7千人まで増加

(単位:人)

